

2022年6月4日

門信徒 各位

潮見寺門信徒会 会長 平国寛己

お盆行事についてのお知らせのご案内

梅雨明けが待ち遠しいこの頃、門信徒の皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。

さて、今年も新型コロナウイルスの影響もあり、お寺も感染対策を十分に行った上で、お盆行事を行わなければなりません。やや窮屈な思いもされるかもしれませんが、以下の通り、参詣のご案内を致します。ご一緒に、精一杯のご供養を致しましょう。

つきましては、参拝の際のマスク着用・手指消毒をお願いするとともに、発熱等の体調不良な方等の参拝は禁止します。田舎の高齢者も必死になって対策を講じており、県外からの帰省の方の参拝も十二分に対策を講じてください。

記

1. 初盆者初盆法要

と き 令和4年8月13日(土)14日(日)

初盆の御家庭に、別途お寺よりご案内致します。

基本的に2家族ご一緒頂き、なるべく少人数・短時間でのお勤めにはなりますが、日頃のご法事の形態で、本堂で勤修致します。

2. 潮見寺門信徒合同盆法要

と き 令和4年8月14日(日) 午前11時30分～12時10分

おつとめ 仏説観無量寿経作法

●初盆以外の方々にとっても、私共の先祖にとっても、お盆は大切な仏事です。

3. 納骨堂法要

と き 令和4年8月13日(土) 9時～10時

●9時から：願成閣(下)→願成閣(上)→第2願成閣 *讃仏偈

●9時20分頃から：本堂 *阿弥陀経

「お盆前寺掃除」

➤ 対象：寺役員と願成閣加入者、初盆者、その他ご協力いただける門信徒

➤ と き：8月11日(木) 午前8時から

➤ 内容(ご無理のない範囲でご参加ください。)

✓ 寺役員・初盆者、その他ご協力くださる門信徒の皆さん "本堂・庭掃除"

✓ 願成閣加入者 "閣内掃除"

伝道



親は間違いなくわたくしに愛情をそそいでいる、ということに気がついた人は、その親の愛情に対する感謝の気持ちが起こってくるので、自然に毎日の生活が充実してくるでしょう。同じく親が愛情をふりそそいでいるのに、そのことに気がつかない人は、不平不満はでてきても、決して親に対する感謝の念を持つことはないから、その人の人生が充実したものとなることは難しいでしょう。

まったく同じ境遇の中で育てられた二人の人間の中で、片一方が不平不満を持ち、片一方が感謝の気持ちを持っていたとしたなら、どちらのほうが幸福でしょうか。

同じように、阿弥陀仏の平等の光を受けながらも、まったくそれに気がつかずに人生をすごした方と、そのことに気がつき阿弥陀仏の救いを信じて一生を生きてきた方と、結果として平等に浄土に生まれることができたとしても、両者にとっての生きてきた人生には、大きな違いがあると言えないでしょうか。

そうすると、「信じようと思えば、阿弥陀仏の光はすべてに平等にふりそそぐというのなら、どっちだって変わらないし、結局は浄土に生まれるんだからな」といった議論は成り立たちません。

そして、少なくとも親鸞聖人におけるお念仏は、修行や依頼としてのお念仏ではなく、この私が愛情が注がれていること、救われたことに対する感謝の表現としてのお念仏という事になります。そのお念仏が自然に口からとび出してくる人びとにとっては、その人生こそはまことに充実したものであると言えるのではないのでしょうか。

私という存在は「支えづめに支えられ、願いつづめに願われている」という事に気付かせてくださるのが仏さまの智慧であり、その智慧に遇う者は本当に喜ぶべきもの、本当に尊いものを知らされて、潤いのあるあたたかい生活をさせていただくのです。

これまで私の人生は私自身が背負っていると思っていましたが、むしろ背負われて生かされているのが私の本当の姿だったのです。この事こそ本当に尊ぶべき事であり、順境の時も、逆境の時も人生を根底から支えてくださる喜びとなってくださるのです。

川にそって岸ができている
川のための 岸
私にそって (仏の) 本願の岸が
できていてくださる
私のための (仏の) 本願
どこまで流れていっても

すむことのない
私のための (仏の) 本願
川のための 岸
私のための (仏の) 本願

東井義雄

仏さまの思い・願い、亡き方の思い・願いを聞かせて頂くのがご法事です。盆法要にお参りしましょう。